



いざというとき、 あなたとペットを守る 6つの備え

災害は突然起こります。いざというとき、あなたの家族とペットがともに安全に避難でき、一緒に暮らせるように日頃からの心構えと備えが大切です。飼い主として「ペットの命を預かる責任」を果たすためにも、「災害への6つの備え」を確認しましょう！

備え1 住まいの防災対策

災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。住まいを災害に強くしておくことが、一緒に住んでいる動物の安全にもつながります。



動物がいる場所は、地震のときに家具やケージが倒れたり落下したりしないようしっかり固定しましょう。

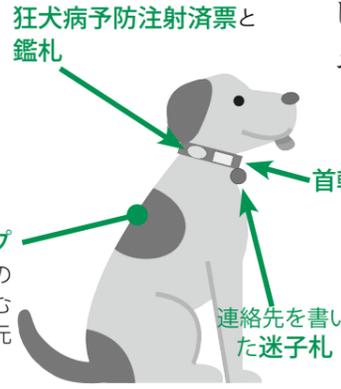


①飼育場所は、地震のときに破損しやすいブロック塀や、ガラス窓の下は避けましょう。
②災害時に動物が驚いて逃げ出さないよう、首輪や鎖が切れたりしないか定期的に点検しましょう。

地震に備えて家具の固定や転倒防止、住まいの耐震強度の確認などの対策をとりましょう。
また、動物が普段いる場所や飼育ケージなどは、災害のときに動物が安全でいられるよう、定期的に点検し、固定するなど対策をとりましょう。

備え2 迷子札とマイクロチップ

災害時に動物が迷子になってしまいでどこかで保護されたときに、すぐに飼い主がわかるよう、普段から迷子札、マイクロチップ等をつけましょう。犬には狂犬病予防法で、登録済みの「鑑札」と「予防注射済票」を首輪などに付けることが義務付けられています。必ず付けましょう。



マイクロチップは、小型の標識器具で体内に埋め込むことでペットの確実な身元証明になります。

備え3 家族の話し合いやご近所との連携

災害が起こった時どうするか、さまざまな場面を想定して、家族やご近所、飼い主仲間と話し合しましょう。災害のときに動物を守るか、連れて避難できるか、良く考えて飼いましょ。



飼っている動物たちをどうやって守り、避難させようか？

家族同士の連絡方法、集場所を決めておこう

ぼくたちが留守のとき、災害が起きたらペットはどうなるのかな？

非常持ち出し袋の中身と保管場所も決めておきましょう

「備えよう！いつもいっしょにいたいから」（環境省）（https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2309a.html）を加工して作成

犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう

犬の飼い主には、狂犬病予防法により犬の登録と年1回の狂犬病の予防注射が義務付けられています。集合注射またはかかりつけの動物病院で必ず接種してください。
また、登録した犬が死んだり、飼い主が変わった場合や住所を変更した場合は市役所環境廃棄物対策課に届け出が必要です。

狂犬病予防集合注射・登録の日程

- 対象：注射・登録ともに生後91日以上の子犬
- 料金：[注射] 3,000円 [登録] 3,000円
- 持ち物：料金、市からの通知はがき（登録済みの方には、3月末に送付します）、印鑑

| とき | ところ |
|---------|----------------------------|
| 4/17(火) | 9:30~9:40 色浜ふれあい会館 |
| | 10:10~10:30 市立体育館 |
| | 10:45~11:00 沓見公会堂 |
| | 11:15~11:30 ひばりヶ丘町会館 |
| | 13:30~13:40 疋田第2会館（元愛発児童館） |
| | 13:55~14:10 山泉区会館 |
| 18(水) | 9:30~9:40 横浜集落生活改善センター |
| | 10:00~10:10 阿曾ふれあい会館 |
| | 10:30~10:40 赤崎区民センター |
| | 11:00~11:20 東郷コミュニティセンター |
| | 13:30~13:50 三島町1丁目会館 |
| 22(日) | 14:10~14:40 粟野公民館 |
| | 13:00~13:30 敦賀市役所 |
| | 13:50~14:10 二州健康福祉センター |
| | 14:30~15:00 粟野公民館 |

【注意】
●会場には犬を制御できる方が連れてきてください。
●フン尿の始末は連れて来られた方が責任をもって、おこなってください。

市内の動物病院でも注射と登録ができます

- ▶詳しくは下記の病院にお問い合わせください。
- ▶料金と市からの通知はがきをご持参ください。

| 病院名 | 住所 | 電話番号 |
|-------------|------------|----------|
| ●奥野動物病院 | 古田刈 67-517 | ☎20-1122 |
| ●田辺獣医科病院 | 木崎 43-17-2 | ☎22-1094 |
| ●森獣医科 | 本町 1-14-3 | ☎24-2803 |
| ●山下動物病院敦賀分院 | 元町 7-17 | ☎25-5319 |

備え4 避難所の保護体制と預け先の確保

災害発生時には、ペットと共に指定避難所等へ避難する「同行避難」が必要な場合もあります。避難所では動物が苦手な人、アレルギーを持っている人など様々な人が共同生活を送ることから、人とペットは別スペースでの滞在となります。普段から持ち運び用のケージに慣れさせておくことも大切な備えです。



各世帯に配布してある「敦賀市防災ハンドブック」には、避難場所や各種防災情報が掲載されています。一度ご確認ください。お手元がない方は、危機管理対策課（☎22・8166）までお問合せください。

備え5 健康管理とつけ

普段とは異なる環境の避難所では、ペットにストレスがかかります。体調を崩しやすくなります。日頃の健康状態に注意し、ブラッシングで体を清潔に保つ

また、他の避難者とトラブルになる場合や、大型動物、危険動物は避難所での受け入れを断る場合もあります。そのような場合も想定し、親戚や友人など、ペットの預け先も確保しましょう。

備え6 ペットのための備蓄品の用意

避難などに備え、ペットに必要な物資の備蓄（フードや水は5日分以上）をしましょう。